

「産業社会と人間」学習指導案  
～インターンシップに向けた学習での試み～

指導者 芸術科 三島 忍（1年4組）  
保健体育科 桐谷 親弘（1年5組）

- 1 日時 平成16年10月1日（金）第5・6校時
- 2 学級 第1学年4組（男子16名，女子23名 計39名）  
5組（男子16名，女子21名 計37名）
- 3 場所 第1学年4組・5組 ホームルーム教室
- 4 単元名 「職業と生活」
- 5 ねらい（1）自己の将来の生き方や進路について考えさせ，望ましい生活習慣を身に付けるとともに，社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観，職業観を育成する。  
（2）地域社会の一員としての自覚をもたせ，地域を愛し地域に貢献できる人材を育成する。  
（3）自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め，その役割と責任を自覚し所属する集団の向上に努めさせる。
- 6 資料 「学習記録ノート」（松永高校教育企画部）

7 単元設定の理由

教材観

「職業と生活」の内容（単元）の学習を通して，将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養い，自分に適した職業などを考察し，その実現に向けて取り組む意欲や態度を育てる。企業調査では，生徒一人一人が実習を予定している事業所を「学習記録ノート」を用いて調査する。このことは，生徒が就業規則やマナー，企業のモットー等がなぜ必要なのかという考察を深め，地域社会の一員としての自覚を持たせ，地域に貢献しようとする意欲を育てることにつながる。

マナー講座では，社会人等を学校に招き，職業の厳しさや働く喜び等の幅広い考えを聞いたり，話し合ったりすることによって，職業生活に必要な礼儀作法や態度，コミュニケーション力への理解を深め，自ら進んで行動化することの大切さに気づかせる。

事前の企業別グループ学習では，グループ内で互いの意見を出し合い聞き合う中で，他者理解，自己理解が深まり，さらに自分の役割と責任を自覚することによって，グループで協力して支えあいながら学習成果をあげようとする集団が形成される。

インターンシップ実施では，そこで働く人々の意見や考え方，生きがいについての生の声を聞くこと，職場の雰囲気などを実感することは，生徒が自分なりの勤労観・職業観を育成することにつながる。

インターンシップの事後学習では，企業別グループ反省会，クラス発表会，全体発表会を行う。このことは，個人・グループでの体験のまとめ作業，発表，話し合いを通して，自分の役割を自覚しその責任を果たすことの大切さや自分が実感した勤労観・職業観等の理解が一層深まり

自分自身のものとなる。

#### 生徒観

集団への所属感が希薄で学校の決まりが守られない、自分の将来への不透明感から学習の動機付けができていない生徒が多い。インターンシップの学習を通して、生徒が社会生活に必要な規則やマナー等を守ることや互いに協力して支えあうことの大切さに気づき、その中で自分の役割や責任を自覚し、自ら進んでその責任を果たそうとする態度や意欲をもつクラス集団をつくりたい。

事業所の要望や友達の考えを聞くことや、事業所での就業体験やそこで働く人々の生の声を聞くことを通して、生徒の職業観・勤労観を育てることによって将来の適切な進路選択ができるようにしたい。

#### 指導観

生徒の中には基本的なマナーが守れず自己中心的な行動をする生徒もいるので、インターンシップの学習を通して、地域の中の一員としての自覚を育てるとともに、学校への所属観を高め、社会生活に必要な基本的なマナーを身に付けさせる。

企業別調査や学習の中での専門的用語や教師の問いかける言葉は、生徒に分かりやすい平易な言葉に置きえて話すことにより、生徒の学習の深化を図る。

教師が自己の勤労観・職業観の育成過程を開示することによって生徒の学習を促進させる。

### 8 単元計画

9月3日(金) 生徒の希望本調査, 事業所の地図調べ

9月10日(金) 「マナー講座」実施

9月29日(水) 事業所決定, 「学習記録ノート」を使っての学習

10月1日(金) 企業別打合せ会, 「学習記録ノート」を使っての企業調査 【本時】

10月8日(金) インターンシップ説明, 企業への電話連絡

10月15日(金) 「マナー講座」実施

10月20日(水) インターンシップ実施企業へのグループ別打合せ

10月22日(金) インターンシップ実施企業へのグループ別打合せ(生徒面接)

10月28日(木) 学年集会(インターンシップ直前指導)

10月29日(金) インターンシップ実施日

11月5日(金) 「学習記録ノート」のまとめ

11月12日(金) 企業別反省会

11月26日(金) 「インターンシップを終えて」の原稿作成

12月3日(金) クラス発表会

12月17日(金) 全体発表会

### 9 本時の目標

(1) 企業別グループでの自らの役割を自覚し、集団の一員として自らの責任を果たし集団に貢献しようとする実践力を身に付けさせる。

(2) 本時学習を通して職業生活に必要な態度を理解させ、社会生活における礼儀の意味を考察させる。

10 本時(5・6 限)の学習の展開

時		学習活動	指導上の留意点	評価の観点
5 時 限	導入 5 分	前時までの学習を振り返る。 本時(5・6 限)の学習内容について教師の説明を聞く。		
	展開 20 分	マナー講座で学習したことを思い出し、実演する。 事業所の就業規則や礼儀・マナー等の標語から、なぜ就業規則や基本的な礼儀作法があるかを考える。 各事業所から学校に寄せられている要望の中にはどんなものがあるかを考え、自己の役割とその責任を果たすことの大切さに気づく。 各事業所でのモットーを予想し、学習ノートに書く。 各事業所での自己の学習目標を2点以上考え、用紙に書く。	マナー講座で学習したスキルを思い出させ、行動化させる。 各事業所での就業規則や礼儀作法等への理解を深めさせる。  インターンシップでの自己の役割を確認し、進んでその責任を果たそうと行動化することの大切さに気づかせる。	社会生活に必要な基本的な態度を身に付けようとしている。  自己の役割と責任に気づき、自ら積極的に行動しようとしている。
	移動 5 分	企業別グループになるために指定された教室に移動する。	速やかに移動させる。(クラスを超えたグループ編成により、他のクラスから入室する生徒あり。)	
	展開 20 分	企業別グループごとに分かれ着席し、活動する。 グループごとに自己紹介する。  グループ内で自己の学習目標を発表する。 グループ内で意見を出し合い、グループの目標を決める。 グループごとの目標とその理由を全体に発表する。 各自の意見、感想を発表する。	互いの意見を出し合う中で自分の考えを深めさせる。 自分の役割と責任を自覚し、互いに協力して支えあいながら学習成果をあげようとする意欲を持たせる。	自分が所属する企業別グループでの役割と責任を果たし、所属する集団の向上に努めている。
休憩	10 分			
6 時 限	展開 40 分	インターンシップの準備作業を行う。 リーダー、副リーダー、各自の役割を確認する。 交通手段、集合方法を確認する  各事業所の資料をもとに企業調査のまとめをする。 注意事項の再確認を行う。	準備作業を通して、各グループでの自分の役割と責任を自覚し、グループ全員が協力して学習成果をあげるよう行動化させる。	グループの作業を協力して行うことができる。  事業所の理念や業務内容を理解する。
	まとめ 10 分	「学習ノート」を使って本時の振り返りを行う。	学習した社会生活に必要な態度や行動を実行する意欲を高める。	